

交通流動予測の実施概要

平成 18 年 8 月新潟県商業振興課

1 目的

大規模小売店舗は、不特定多数の顧客を集め、大量の商品等の流通の要となる施設であるため、来客及び商品等の搬出入によって周辺地域において混雑等が生じ、地域の住民の生活の利便が損なわれる場合がある。

よって、大規模小売店舗の出店による周辺交通への影響を把握し、交通渋滞を緩和する適切な対応策の検討を行ない、地域の住民の生活の利便を確保することを目的とする。

2 対象店舗

- ・店舗面積 2 万㎡以上の新設店舗
- ・店舗面積の増床が 2 万㎡以上の増床
- ・その他、特に必要と認めるとき

3 交通流動予測の方法

- ・社団法人交通工学研究会のホームページに掲載されているソフトを使用する。
- ・ソフトの選択は、予測の範囲等を勘案し、その都度、県から設置者へ指示する。

4 交通流動予測の内容

- ・開発負荷後のシミュレーション
 - ・設置者が実施可能な対策を行った場合のシミュレーション
- ※交通流動予測を実施する前に、現況交通状況の再現性について検証が必要。
※検討会で道路管理者又は交通管理者など検討会メンバーが対策を指示した場合、追加でシミュレーションを行い、検証する。

5 交通流動予測のフロー

